

かごしまの教育

No.83 令和7年 3月

広報紙「かごしまの教育」について、皆さんの御意見・御感想をお聞かせください。



アンケートへのアクセスはこちらから

発行/鹿児島県教育委員会 総務福利課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
☎099-286-5190



夜間中学に関する情報は、鹿児島県教育委員会 HP でご覧下さい。

鹿児島 夜間中学 検索



夢や希望を実現し ともに未来を創る鹿児島の人づくり 鹿児島県教育委員会



令和7年4月開校!! 鹿児島県立いろは中学校



県立いろは中学校は、
県内初の夜間中学です。



～めざす学校像～

一人一人の思いを大切にし、
いきいきと学べる学校

■ 多様性の尊重

互いに認め合い、安心して生活を送ることができるようになります。

■ 生徒理解に基づいた指導の充実

一人一人の状況や思いに寄り添います。

■ 「学びたい」という意欲の継続・向上

生徒の意欲や希望に合わせて
学習内容や授業方法を工夫します。



学校生活

いろは中学校は、昼間の中学と同じ、中学校です。

- ・ 週5日間、授業があります。
- ・ 登校時間は17時25分、下校時間は21時です。
- ・ 1時間の授業は40分間です。1日に4時間授業があります。
- ・ 昼間の中学校と同じ教科等を学習します。
- ・ 必要に応じて、小学校の内容や日本語を学びながら、中学校の内容を学習することができます。
- ・ 場所は、開陽高等学校の敷地内です。



入学対象者

鹿児島県内に住んでいて、
以下の3つのいずれかに当てはまる方が対象です。

- ・ 戦後の混乱期等で、学校に通えなかった方
 - ・ 不登校などの理由で十分な教育を受けられずに中学校を卒業した方
 - ・ 本国または日本の義務教育を受けられなかった外国籍の方
- ※ これまでの学習の状況により、2年生、3年生からの入学も可能です。



鹿児島県教育委員会公式キャラクター かごまる



第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会(2023かごしま総文)のマスコットキャラクターとして誕生した「かごまる」は、令和6年度より、児童・生徒の文化活動を応援し、県教育委員会の取組等をPRするため、鹿児島県教育委員会公式キャラクターになりました。

みなさんの学校行事や教育委員会のイベントなどで見かけたら、「かごまる」と声をかけてください。



県教育委員会公式キャラクター就任式

かごまる



鹿児島名物である、かき氷の白熊、かるかん、桜島大根、桜島、西郷隆盛、大島紬、薩摩切子などの要素が盛り込まれているので、みつめてみてね。「かごまる」という愛称には、鹿児島から世界をまるくしてほしいという願いがこめられているよ。



辞令交付式(新規採用教職員)

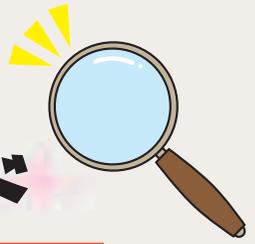


鹿児島水産高校実習船「薩摩青雲丸」出港式



Check!

鹿児島県公立高校検索ガイド



県教委では、公立高校の魅力的な取組を中学生やその保護者、地域の方々などにも知ってもらい、中学校やその保護者から選んでもらえる高校づくりにつなげるため、県内全ての公立高校68校の情報を一つに集約したポータルサイトを開設しました。



検索ガイドはこちらから→



各学校のパンフレット、学区や学科、制服紹介、学校紹介ショート動画など、充実した検索メニューから本県の公立高校の新しい情報を得ることができます。

進路選択に役立つ情報は
高校教育課公式 SNS にも掲載中！



種子島中央高校編

魅力あるかごしまの高校

新しい学びと普通教育の融合!!
ミライデザイン科

ミライデザイン科とは

デジタル技術とデザイン思考を学び、社会生活を変革できる資質・能力を身に付け、次世代を創造する人材を育成する学科です。

学科の特徴

ミライデザイン科では、普通教科に加えて、新しい学びである「デザイン思考」と「デジタル技術」を学び、身の回りにある課題を見つけ、仲間と協働しながら解決します。



ミライデザイン科

令和6年4月開設

※イラストは画像生成 AI を利用して制作しています。



最新情報はコチラ！

ミライデザイン科

新しい学び

01 デジタル技術

課題解決のための有効な手段として、目的に応じてデジタル技術を適切に選択・活用できる力

02 デザイン思考

地域や社会における課題を自ら発見し、解決までの過程を筋道立てて構築することができる力

普通教科

03

国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報の教科の学び

こんな人にオススメ！

- ◆様々な分野の専門家から、直接話をきいてみたい！
- ◆最新のデジタルツールを使って学んでみたい！
- ◆情報発信力を身に付けたい！
- ◆友達といろいろなアイデアを出し合って、課題解決をしてみたい！



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

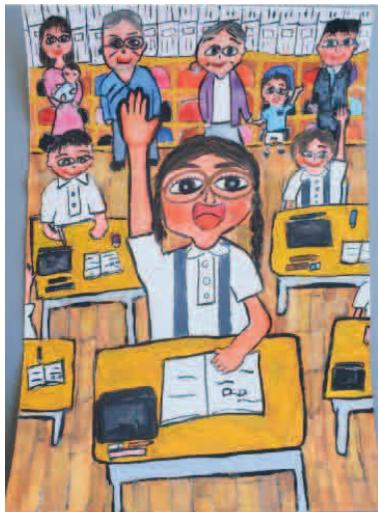
11月1日～7日

県教育委員会では、毎年11月1日から7日を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」と定めています。この県民週間は、学校等で実施される多彩な行事や教育活動を通して、普段の子供たちの様子を広く県民の皆様に御覧いただき、鹿児島の教育について考えていただくとするものです。この県民週間を幅広く普及するため、県内の小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校の児童・生徒からポスター原画及び標語を募集し、最優秀賞・優秀賞作品を表彰しました。



特選・入選や各学校の取り組みはHPへ

最優秀賞



始良市立柁城小学校 4年 大久保 穂香
「元気な声で「はい！」」

早く来て早く見せたい
笑顔の学校 自まんのクラス
霧島市立国分小学校 5年 永岩 ゆう

優秀賞

ポスター原画の部 (応募総数: 1,942 点)

標語の部 (応募総数: 2,050 点)



龍郷町立龍郷小学校 1年 池山 鈴夏 「はじめての きゅうしょくとうばん」
いちき串木野市立串木野小学校 5年 下津 菜心 「ほくほく おいしい焼きいも」
鹿児島市立吉野東中学校 3年 坂本 鈴奈 「つけ揚げつくり体験中」

きょうはできなかったよあしたはなができるかな？
薩摩川内市立高米小学校 1年 西園 翔和
がっこうはえがおがひかる みんなのい場所
鹿児島市立八幡小学校 3年 出口 陸叶
凜とした授業態度でひきつける
鹿児島市立桜丘中学校 3年 北村 綾希

学校賞

〈ポスター原画の部〉
出水市立鶴荘学園
大崎町立大丸小学校

〈標語の部〉
薩摩川内市立川内小学校
龍郷町立龍郷小学校



上野原縄文の森展示館リニューアル



令和6年10月5日、上野原縄文の森展示館をリニューアルオープンし、たくさんのお客様にご来館いただき、記念セレモニーを開催しました。平成14年10月の上野原縄文の森開園から20年以上が経過する中で日々研究が進み、これまで約9,500年前とされてきた上野原遺跡の集落跡の年代が約1,100年さらに遡り、約10,600年前のものであることが明らかになりました。このように、内容を最新の情報にアップデートし、より縄文時代に特化した展示となりました。



テープカット



平山やまびこ太鼓による演出



展示見学の様子

主なリニューアル内容



○「南の縄文文化」コーナー

南の縄文文化の特徴を示す土器や石器を展示しています。壁一面に広がる大量の縄文土器は圧巻です。



○「じょうもんくんと記念写真」コーナー

既存の「クイズラリー」等と合わせて、縄文時代をより楽しく学ぶことができるようになりました。



縄文の森キャラクター
じょうもんくん



子どもをまるごと認め、励ます～非認知能力を育む～



日曜日の午後、「今日の夕食は私が作りたい」と娘がレシピを持ってきたので、久しぶりに娘と一緒に料理をすることにしました。作るのはキーマカレーです。娘は張り切って準備を始めました。「お母さんは何をすればいいの」と娘に尋ねると、娘はレシピを読みながら「タマネギを切って」と自慢げに教えてくれました。私が切り終えたことに気付くと、すかさず「次はこれをお願いしようかな」と、うれしそうに話しました。

いつもは私がさせたいことを「子どもにさせる」ことが多かったのですが、「娘のしたいことを一緒にする」体験で、いつもとは違うコミュニケーションとなり、私自身が娘の成長を感じることができました。



子どもの非認知能力を育む3つの「あ」

あそび

五感をフルに使った遊びを通して、子どもは様々な力を身に付けていきます。好きなことに夢中になったり、遊びに没頭したりする体験が大切です。

あんしん

失敗しても受け止めてもらえるような活動しやすい環境があれば、子どもは安心してやりたいことにチャレンジできます。そして自信を高めることができます。

あとおし

少し難しいことでも、背中を押してくれる存在がいると、最後までやり遂げることができます。任せてもらえること、頼りにされることは成長につながります。

テストで測ることができる読み書きの力や計算力などを「認知能力」と言うのに対し、意欲や粘り強さや忍耐力、人と協力する力などを「非認知能力」と言います。

子どもの成功も失敗も、自信の有無も、全てを受け止めて大切な存在として寄り添い向き合うことを、人権教育では「子どもをまるごと認める」として大切にしてきました。子どもの興味・関心を大切に、一緒に楽しみ、応援して支える保護者の姿は、自尊感情の高まりにもつながります。成長に伴ってきちんと叱ったり方向性を示したりしながら、子どもの生き方を見守り後押しできる関係づくりを大切にしたいものです。3つの「あ」をキーワードに、一緒に子どもの非認知能力を育てていきませんか。

～多様な学びの場の充実に向けて～通級による指導について～

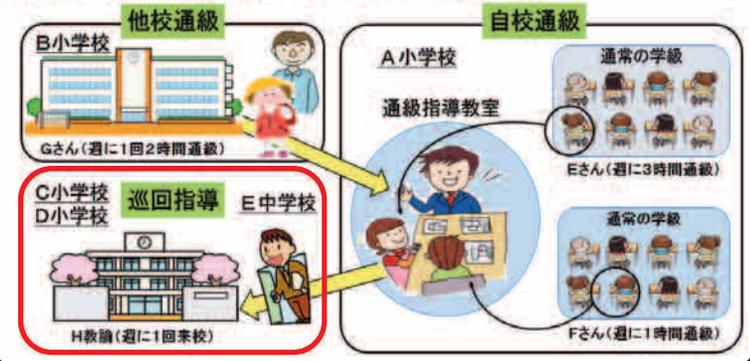
特別支援教育においては、一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の一層の充実に努めるため、多様で柔軟な学びの場の整備に努めています。その多様な学びの場の一つに「通級による指導」があります。「通級による指導」とは、大部分の授業を小・中・高等学校の通常の学級で受けながら、一部、障害に応じた特別の指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態で、障害による学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するため、特別支援学校学習指導要領の「自立活動」に相当する指導を行います（「ことばの教室」や「LD・ADHD通級指導教室」など）。

実施形態として、①児童生徒が在籍する学校において指導を受ける「自校通級」、②他の学校に通級し、指導を受ける「他校通級」、③通級による指導の担当教師が該当する児童生徒のいる学校を巡回して指導を行う「巡回指導」があります。



通級による指導

通常の学級に在籍して、障害の状態に応じた特別な指導（自立活動等）を、特別の指導の場（通級指導教室）で行うもの。（週5時間まで）



【巡回型通級指導教室開設のためのモデル事業について】



【通級による指導の様子】

本年度から「巡回型通級指導教室開設のためのモデル事業」を開始し、巡回指導を薩摩川内市、鹿屋市、奄美市の県内3市のモデル校で行っています。本事業の成果として、他校通級の児童は、他校への移動の必要がなくなり、在籍校の授業を欠席することがなくなったことなどがありました。本モデル事業を通じて、通級による指導の充実に努めてまいります。

SNSを上手に使うために

- 相手の気持ちを考えて、コミュニケーションをとりましょう。
☑️ 相手を傷つけていませんか？
☑️ 夜遅くに連絡していませんか？
- 個人情報をインターネットに載せないようにしましょう。
☑️ 自分の情報を公開していませんか？
☑️ 知らない人を信用し過ぎていませんか？
- 投稿や動画像の閲覧に夢中になり過ぎないようにしましょう。
☑️ 長時間利用し過ぎていませんか？
☑️ 投稿や閲覧をやめられなくなっていますか？
- 相手の権利を侵害したりしないようにしましょう。
☑️ 他者の動画像を勝手に撮影したり投稿したりしていませんか？
☑️ 違法な動画をダウンロードしていませんか？

悩みや不安を抱えて困っているときには、一人で抱え込まずに、信頼できる身近な大人（保護者や教員等）に相談しましょう。



STOP!! 「ネットいじめ」

インターネットやSNSを利用して誹謗・中傷等を行う「ネットいじめ」は、他のいじめと同様に決して許されません!!

【ネットいじめの具体例】

- ✓ SNSに誹謗・中傷を投稿する。
- ✓ SNSに実名や個人が特定できる表現で個人情報を無断で掲載する。
- ✓ 他人になりすまし、SNSに悪意のある投稿をして信用を損なう。



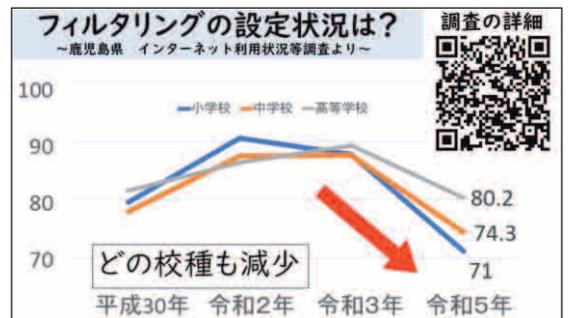
【家庭で親ができること】

- インターネットやSNSに関する正しい知識を持ち、子供の利用実態を把握しましょう。
- ネットトラブルについて子供と話し合うなど子供が情報モラルを身につけることができるようにしましょう。
- 万が一、子供から相談を受けたら、学校や警察等の相談窓口にご相談しましょう。

かごしま教育ホットライン 24
ひとりで悩まないで すぐ相談してね
(24時間子どもSOSダイヤル) なやみいおう
0120-0-78310
固定電話専用
0120-783-574
なやみっこなし

ネットトラブルを防ぐために

- 子供が使う端末に「フィルタリング」を設定していますか？
- 子供と話し合って「家庭内のルール」を決めていますか？
- インターネットやSNSの利用について、普段から子供と話をしていますか？
- ネットの利用時間等の急激な増減など、子供の態度や行動に変化はありませんか？



平成30年及び令和3年は保護者対象、令和2年及び令和5年は児童生徒対象。令和元年及び令和4年は調査なし。

子供を守るとともに、これからの社会の中でインターネット等を正しく使いこなすことができるように、年齢や発達段階に応じた「端末の適切な設定」や「家庭のルール」が大切です。

青少研ほっとスペース

～子どもの「やりたい!」を引き出し、見守り、支えます～

【活動について】

【実施日】毎週水曜日 午前9時から午後5時まで
※対応時間は要相談（休所日は除く）

【対象】不登校及び不登校傾向にある小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒

【活動内容】

- 自然の中で体を動かす（ボランティア活動、スポーツ他）
- 植物を育てたり作物を収穫したりする（苗づくり、花・野菜づくり）
- 読書をする（センター図書もしくは持参の本）等

【令和6年度の主な活動内容】

- 野外活動
(フライングディスクゴルフ、マウンテンバイク等)
- 創作活動
(青少研知恵の板、スーパー竹とんぼ、昆虫クラフト等)



【問合せ先】

県立青少年研修センター
住所：鹿児島市宮之浦町 4226-1
電話：099-294-2111
E-mail：ytcken@pref.kagoshima.lg.jp



(ホームページ)

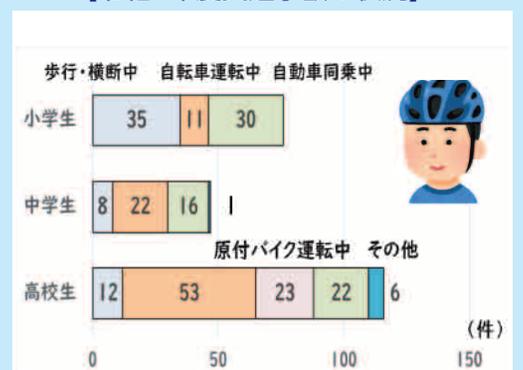


(Instagram)

ヘルメットをかぶって「自分の命・未来」を守りましょう

右のグラフからも、自転車運転中の交通事故が多いことがわかります。自転車のヘルメット着用時に比べ、非着用時は致死率が約2倍高まるというデータ(警察庁)があります。自分の命・未来を守るためにもヘルメットを着用しましょう。

【令和5年度交通事故の状況】



道路交通法の改正 (令和6年11月1日)

自転車運転中の「ながらスマホ」「酒気帯び運転」が新たな罰則です。安全意識を高め、自転車運転中に通話する行為、画面を注視する行為をしないよう徹底しましょう。

